

第28回 千葉県ブロック代表少年サッカー選手権 5年生大会 結果

I 予選1次リーグ 平成20年11月30日(日)

会場: 松戸市千駄堀スポーツ広場 A面

Aブロック	1 市川K・I FC	5 FC高津	3 柏ラッセルFC	勝点	得点	失点	得失点差	順位
1 市川K・I FC		△ 0 - 1	△ 0 - 0	1	0	1	-1	3
5 FC高津	○ 1 - 0		△ 0 - 0	4	1	0	1	1
3 柏ラッセルFC	△ 0 - 0	△ 0 - 0		2	0	0	0	2

Bブロック	1 高洲SCホッパーズ	6 長生マリノズ	7 FC Libereo	勝点	得点	失点	得失点差	順位
1 高洲SCホッパーズ		△ 1 - 1	△ 0 - 0	2	1	1	0	2
6 長生マリノズ	△ 1 - 1		× 0 - 2	1	1	3	-2	3
7 FC Libereo	△ 1 - 1	○ 2 - 0		4	3	1	2	1

会場: 松戸市千駄堀スポーツ広場 B面

Cブロック	5 大和田FC	7 バディーSC	1 フッチSC	勝点	得点	失点	得失点差	順位
5 大和田FC		△ 0 - 0	× 0 - 1	1	0	1	-1	3
7 バディーSC	△ 0 - 0		○ 3 - 0	4	3	0	3	1
1 フッチSC	○ 1 - 0	× 0 - 3		3	1	3	-2	2

Dブロック	3 船橋イレブン2002	3 柏エフォートFC	8 白幡FC	勝点	得点	失点	得失点差	順位
3 船橋イレブン2002		○ 3 - 0	○ 1 - 0	6	4	0	4	1
3 柏エフォートFC	× 0 - 3		○ 1 - 0	3	1	3	-2	2
8 白幡FC	× 0 - 1	× 0 - 1		0	0	2	-2	3

会場: 流山市江戸川河川敷緑地公園サッカー場 A面

Eブロック	2 松戸小金原FC	6 ときがねFC	4 習志野MSS	勝点	得点	失点	得失点差	順位
2 松戸小金原FC		△ 1 - 1	× 0 - 1	1	1	2	-1	3
6 ときがねFC	△ 1 - 1		○ 1 - 0	4	2	1	1	1
4 習志野MSS	○ 1 - 0	× 0 - 1		3	1	1	0	2

Fブロック	6 MASAKI FC	5 勝田台FC	3 柏イーグルスTOR'82	勝点	得点	失点	得失点差	順位
6 MASAKI FC		○ 2 - 0	× 0 - 4	3	2	4	-2	2
5 勝田台FC	× 0 - 2		× 0 - 9	0	0	11	-11	3
3 柏イーグルスTOR'82	○ 4 - 0	○ 9 - 0		6	13	0	13	1

第28回 千葉県ブロック代表少年サッカー選手権 5年生大会 結果

会場：流山市江戸川河川敷緑地公園サッカー場 B面

Gブロック	7 Penya F. C	8 ちはら台FC	5 千代田ライガーSC	勝点	得点	失点	得失点差	順位
7 Penya F. C		△ 3 — 3	△ 0 — 0	2	3	3	0	2
8 ちはら台FC	△ 3 — 3		○ 2 — 1	4	5	4	1	1
5 千代田ライガーSC	△ 0 — 0	× 1 — 2		1	1	2	-1	3

Hブロック	2 常盤平少年SC	4 ヴィヴァイオ船橋SC	7 FCラルクヴェール千葉	勝点	得点	失点	得失点差	順位
2 常盤平少年SC		○ 3 — 0	○ 7 — 0	6	10	0	10	1
4 ヴィヴァイオ船橋SC	× 0 — 3		△ 1 — 1	1	1	4	-3	2
7 FCラルクヴェール千葉	× 0 — 7	△ 1 — 1		1	1	8	-7	3

会場：野田市利根川河川敷スポーツ公園 A面

Iブロック	3 ヴィスポ柏99FC	7 こてはし台SC	2 上本郷SC	勝点	得点	失点	得失点差	順位
3 ヴィスポ柏99FC		× 0 — 1	△ 0 — 0	1	0	1	-1	3
7 こてはし台SC	○ 1 — 0		△ 0 — 0	4	1	0	1	1
2 上本郷SC	△ 0 — 0	△ 0 — 0		2	0	0	0	2

Jブロック	4 藤崎SC	8 TOPSAIDEアウルFC	1 市川中央リトルキッズ	勝点	得点	失点	得失点差	順位
4 藤崎SC		○ 2 — 1	○ 1 — 0	6	3	1	2	1
8 TOPSAIDEアウルFC	× 1 — 2		○ 1 — 0	3	2	2	0	2
1 市川中央リトルキッズ	× 0 — 1	× 0 — 1		0	0	2	-2	3

会場：野田市利根川河川敷スポーツ公園 B面

Kブロック	8 市原ユナイテッドFC	7 フロインツ	3 柏レイソルU-12	勝点	得点	失点	得失点差	順位
8 市原ユナイテッドFC		△ 1 — 1	× 0 — 3	1	1	4	-3	2
7 フロインツ	△ 1 — 1		× 0 — 3	1	1	4	-3	2
3 柏レイソルU-12	○ 3 — 0	○ 3 — 0		6	6	0	6	1

Lブロック	1 明海FC	2 まつひだいSC	4 八木ヶ谷北FC	勝点	得点	失点	得失点差	順位
1 明海FC		○ 5 — 1	○ 2 — 0	6	7	1	6	1
2 まつひだいSC	× 1 — 5		△ 1 — 1	1	2	6	-4	3
4 八木ヶ谷北FC	× 0 — 2	△ 1 — 1		1	1	3	-2	2

第28回 千葉県ブロック代表少年サッカー選手権 5年生大会 結果

II 大会2日目 予選2次リーグ

(20分-5分-20分)

平成20年12月7日(日)

会場

Aグループ	A-1 FC高津	E-1 ときがねFC	I-1 こてはし台SC	勝点	得点	失点	得失点差	順位
A-1 FC高津		○ 5 — 0	× 0 — 2	3	5	2	3	2
E-1 ときがねFC	× 0 — 5		× 0 — 2	0	0	7	-7	3
I-1 こてはし台SC	○ 2 — 0	○ 2 — 0		6	4	0	4	1

野田市利根川スポーツ公園 (A面)

試合開始時間

① 9:00~

② 10:00~

③ 11:00~

④ 12:00~

⑤ 13:00~

⑥ 14:00~

会場

Bグループ	C-1 パディーSC千葉	G-1 ちはら台SC	K-1 柏レイソルU-12	勝点	得点	失点	得失点差	順位
C-1 パディーSC千葉		△ 0 — 0	× 0 — 2	1	0	2	-2	2
G-1 ちはら台SC	△ 0 — 0		× 0 — 3	1	0	3	-3	3
K-1 柏レイソルU-12	○ 2 — 0	○ 3 — 0		6	5	0	5	1

野田市利根川スポーツ公園 (B面)

試合開始時間

① 9:00~

② 10:00~

③ 11:00~

④ 12:00~

⑤ 13:00~

⑥ 14:00~

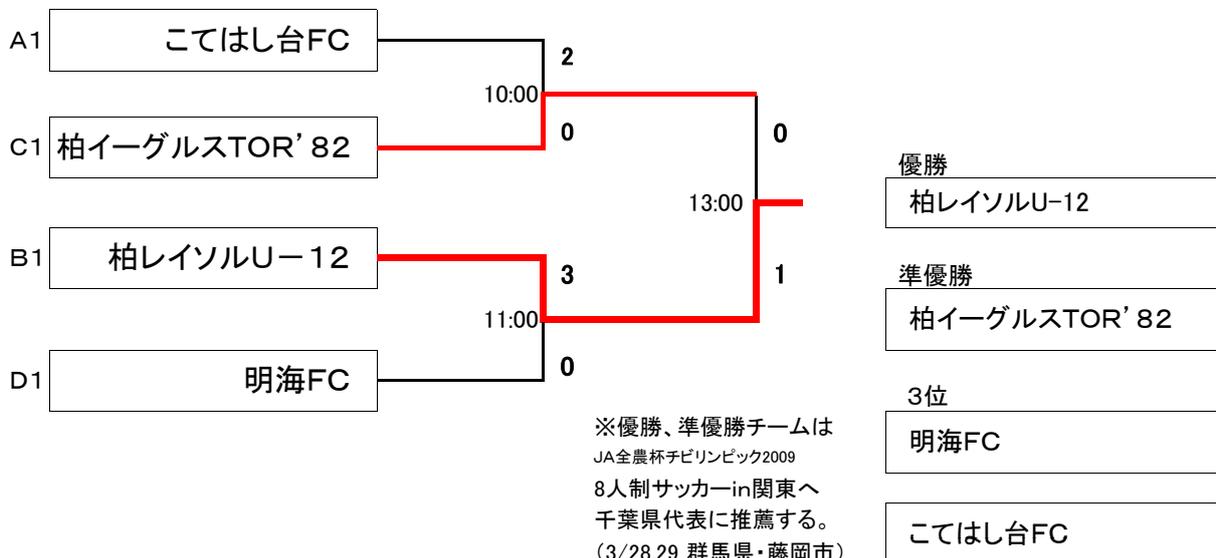
Cグループ	B-1 FC Libereo	F-1 柏イーグルスTOR'82	J-1 藤崎SC	勝点	得点	失点	得失点差	順位
B-1 FC Libereo		× 0 — 2	× 0 — 3	0	0	5	-5	3
F-1 柏イーグルスTOR'82	○ 2 — 0		○ 5 — 0	6	7	0	7	1
J-1 藤崎SC	○ 3 — 0	× 0 — 5		3	3	5	-2	2

Dグループ	D-1 船橋イレブン2002	H-1 常盤平少年SC	L-1 明海FC	勝点	得点	失点	得失点差	順位
D-1 船橋イレブン2002		× 1 — 3	△ 1 — 1	1	2	4	-2	3
H-1 常盤平少年SC	○ 3 — 1		× 1 — 3	3	4	4	0	2
L-1 明海FC	△ 1 — 1	○ 3 — 1		4	4	2	2	1

III 決勝トーナメント

平成20年12月21日(日)

松戸市陸上競技場



※優勝、準優勝チームは
JA全農杯チビリンピック2009
8人制サッカーin関東へ
千葉県代表に推薦する。
(3/28,29 群馬県・藤岡市)

平成20年度

(第28回) 千葉県ブロック代表少年サッカー選手権大会戦評

準決勝第一試合

柏イーグルス TOR'82 v s こてはし台 SC

前半1：0後半1：0合計2：0 柏イーグルス TOR'82 勝利

前半立ち上がり柏イーグルスは右サイドからの攻撃、こてはし台は右サイドからの攻撃でグラウンドの縦半分で行われていましたが、柏イーグルス11番・廣瀬君がペナルティーアーク付近から相手選手を一人かわしてからのシュートで先制してからは、柏イーグルスは左サイドからの攻撃も中央、右サイドとリズムがよくなりました。

後半も終始、柏イーグルスがゲームを支配し後半5分に14番・栗島君が得点し柏イーグルス TOR'82 の決勝進出が決定しました。

この試合を観戦していて、こてはし台 SC のスタッフ・選手は自分達の力をもっと出せると思ったはずです。選手一人一人を見ても、100%を出し切っていた選手はいないと思います。逆に言えば柏イーグルスの前線からのディフェンス、相手の前でボールを奪うチームディフェンスが良かったのだと思います。

私が注目した選手は、柏イーグルス TOR'82、6番大里君です。この試合を観ていて違和感があったのはボールは動いているのですが、選手の動きが少ないように思えたのです。ただ大里君だけはディフェンスから攻撃になった時にいいタイミングで果敢にオーバーラップを仕掛けていてフリーランニング時には、周りをよく観ながら走り、ボールを受けた時の選択肢を増やしていたなあと思います。

(第二ブロック技術委員 上條 一雄)

準決勝第二試合

柏レイソル U12 v s 明海 FC

前半2：0後半1：0合計3：0 柏レイソルU-12 勝利

準決勝第二試合目は柏レイソル U12 対明海 FC の二次予選を勝ち抜いて来たチームの対戦となった。

明海 FC のキックオフで始まったこの試合、前半3分、柏レイソル U12 の攻撃、15番・野洲君のパスを受けた16番・伊藤君が、ドリブルで明海 FC の DF を引きつけ14番・佐藤君へラストパスを送り、ゴールへ流し込み先制点を奪う。また、その2分後、柏レイソル U12 はゴール前にボールを送り混戦の中、14番・佐藤君は2点目のシュートを決めた。一方、明海 FC は柏レイソル U12 の動きに翻弄するものの、前半12分、中盤でのインターセプトから9番・伊藤君から31番・飯尾君にパスがつながり左からのシュートをするが、キーパーにキャッチされてしまった。

試合中盤は明海 FC のチェックも早くなり、柏レイソル U12 にボールは支配されるものこの着状態が続いていた。前半終了間際は、柏レイソル U12 の左サイド14番・佐藤君のドリブルからセンタリングを上げ、中にいた10番・白川君へつながりシュートするも、惜しくもポストにあたり、3点目とはならず前半が終了した。

後半、柏レイソル U12 のペースは変わらず、後半の立ち上がりからチャンスを多く作り、後半5分には、9番・北原君のパスを受けた13番・佐田君がセンターリング10番・白川君がヘディングシュートをするも惜しくもバーにあたり得点にはならなかった。明海 FC も中盤でボールを奪い攻撃につなげようとするが、柏レイソル U12 のチェックが早くなかなかシュートまでにはいたらなかったが後半10分、コーナーキックを奪い9番・伊藤君のコーナーキックを31番・飯尾君のヘディングシュートをするが、ゴールを奪うことは出来なかった。

得点が動かない中、後半15分、柏レイソル U12、6番・衛藤君のインターセプトから8番・藤原君がパスを受け、そのままシュートするも明海 FC キーパー高久君の好セーブに阻まれたが、こぼれ球を再度8番・藤原君がひろい、混戦の中、シュート、3点目のゴールが決まる。

その後、両チームとも得点を取ることはできず、試合終了のホイッスルが吹かれた。

(第二ブロック技術委員 相野谷 毅)

第28回千葉県ブロック代表少年サッカー選手権大会5年生大会決勝戦

柏イーグルス TOR82 v s 柏レイソル U-12

前半0：0後半0：1合計0：1 柏レイソル U-12が優勝

お互いのチームのFP20名がコートの中の3分の1に入りハイプレッシャーがかかっているにも関わらず選手達のボールコントロールは簡単そうに見えるほどの技術的にこの年代のトップレベルの試合を観戦しました。

前半は柏イーグルスがゲームを支配していた。これは、柏レイソルの守備から攻撃に行く時のミスパスが多いのが原因だと思いますが、逆に柏イーグルスの前線からの守備が良かったと考えられます。また、準決勝の2試合ではあまり見られなかった『積極的なスライディング』が両チームとも行う選手がいました。

後半も立ち上がりから柏イーグルスがゲームを支配していたのだが、柏レイソル守備陣も落ち着いて対応していました。後半12分、30mくらいある距離から柏レイソル13番・佐田君がフリーキックを直接放り込み、柏レイソルが先制し、ゲーム内容がヒートアップしてきました。この8分間は本当に上手い・激しい・スピーディーな3拍子が揃ったゲーム内容で観戦していた人にサッカーの楽しさを伝えたと思います。

この試合を観戦していて、柏イーグルスのDF選手が自分のゴールを向いてボールを処理しなければならない状態になった時にコート外にボールを捨てていたように思います。良い判断だと言えばそれまでですが、GKを使ってサイドチェンジが出来る場面もあったと思います。ただ、柏イーグルスの選手は前半ベンチスタートの選手が後半から出場しているにも関わらずゲーム内容のクオリティが落ちないのは選手層の厚さを感じました。

柏レイソルの選手は一人一人がチームの約束ではなく個人の判断で質の高いプレーをしていました。また、レベルの高いチームの対戦はセットプレーが重要な事だと指導者とし改めて思いました。

今日、観戦した3試合は間違いなく千葉県のトップチームであり、この4チームの一年後が楽しみです。選手の皆さん、楽しいサッカーをありがとう。

(第二ブロック技術委員 上條 一雄)